

地域未来交付金(地域未来推進型)を活用したプロジェクト

要望内容

奈良県関連事業に必要な『地域未来交付金(地域未来推進型)』の確実な予算配分

【内閣府】

観光地域づくり推進プロジェクト

課題

- ・日帰り観光客が多い
- ・滞在時間・宿泊者数が少ない
- ・観光消費額が少ない
- ・観光客が奈良公園周辺に集中 など

目的

奈良県内各地にフォーカスした「観光地域づくり」を推進し、奈良公園エリアに集中している観光客を分散させ、県全域での観光消費額および観光投資額を拡大を目指す

【ソフト事業】

事業費:約5.2億円(国費約2.6億円)

- 地域の観光ステークホルダーと連携・協働しながら観光地域づくりを実践する「観光地域づくりコーディネーター」を配置
- 各地域の特性・強みを最大限引き出した観光コンテンツの造成・磨き上げを行うとともに、各地域で設定した誘客ターゲットに特化した戦略的かつ効果的なプロモーションの実施



インフラ整備事業

事業費:約65.7億円(国費:約29.9億円)

- 周遊道路の改良等による観光周遊の快適性・安全性向上を実施



- 新たな玄関口整備による新たな賑わいの創出と県内全域への拡大を実施



誰もが輝くアクティブな健康まちづくり事業

新県立アリーナ、(仮称)医大新駅等の整備

課題

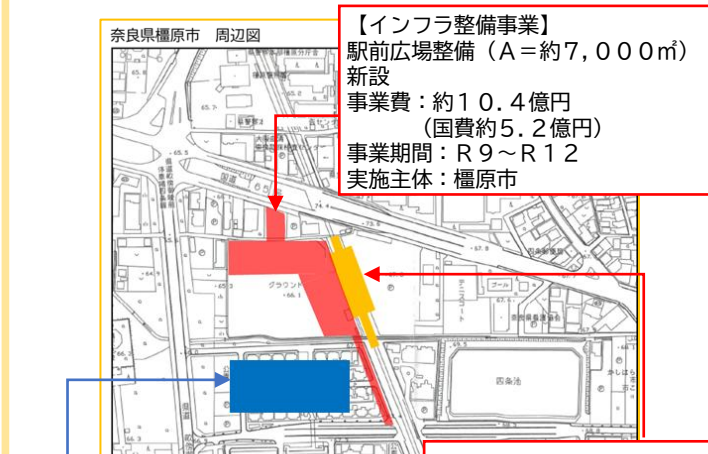
- ・体育施設の整備の遅れにより、幅広い世代で運動習慣が十分に確立されていない
- ・幼少期から運動に親しむ機会を長期的に涵養していく仕組みがない など

目的

「(仮称)アクティブアリーナ」を整備するとともに、同施設を利用しやすい鉄道駅を整備し、健康をテーマとしたまちづくりを推進

【ソフト事業】

こどもをはぐくむ運動推進事業等
事業費:約0.28億円
(国費約0.14億円)
計画期間:R7~R9
実施主体:奈良県



【インフラ整備事業】
駅前広場整備 (A=約7,000㎡)
新設
事業費:約10.4億円
(国費約5.2億円)
事業期間:R9~R12
実施主体:橿原市

【拠点整備事業】

(仮称)アクティブアリーナの整備
新設
事業費:44億円
(国費15億円)
計画期間:R8~R10
実施主体:奈良県

【インフラ整備事業】

近鉄橿原線 (仮称)医大新駅
新設
事業費:24億円
(国費8億円)
事業期間:R9~R12
実施主体:奈良県

こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

インクルーシブ公園の整備

課題

- ・深刻な少子化と若年層の流出
- ・未婚化・晩婚化の進行
- ・子育てコストの高さと施設の不足

目的

こどもの成長・発達を促し、子育て支援に資する公園を目指す「まほろば健康パーク」におけるインクルーシブ公園の整備

【ソフト事業】

事業費:1.2億円(国費0.6億円)
事業期間:R11~R13
実施主体:奈良県



【インフラ整備事業】
まほろば健康パーク (26ha)
拡張エリア整備 A=26ha (既存区域含む)
事業費:20億円(国費10億円)
事業期間:R10~R12
実施主体:奈良県

【インフラ整備事業】

町道下永1号線
新設 L=62m
事業費:20億円(国費10億円)
事業期間:R8~R12
実施主体:磯城郡川西町